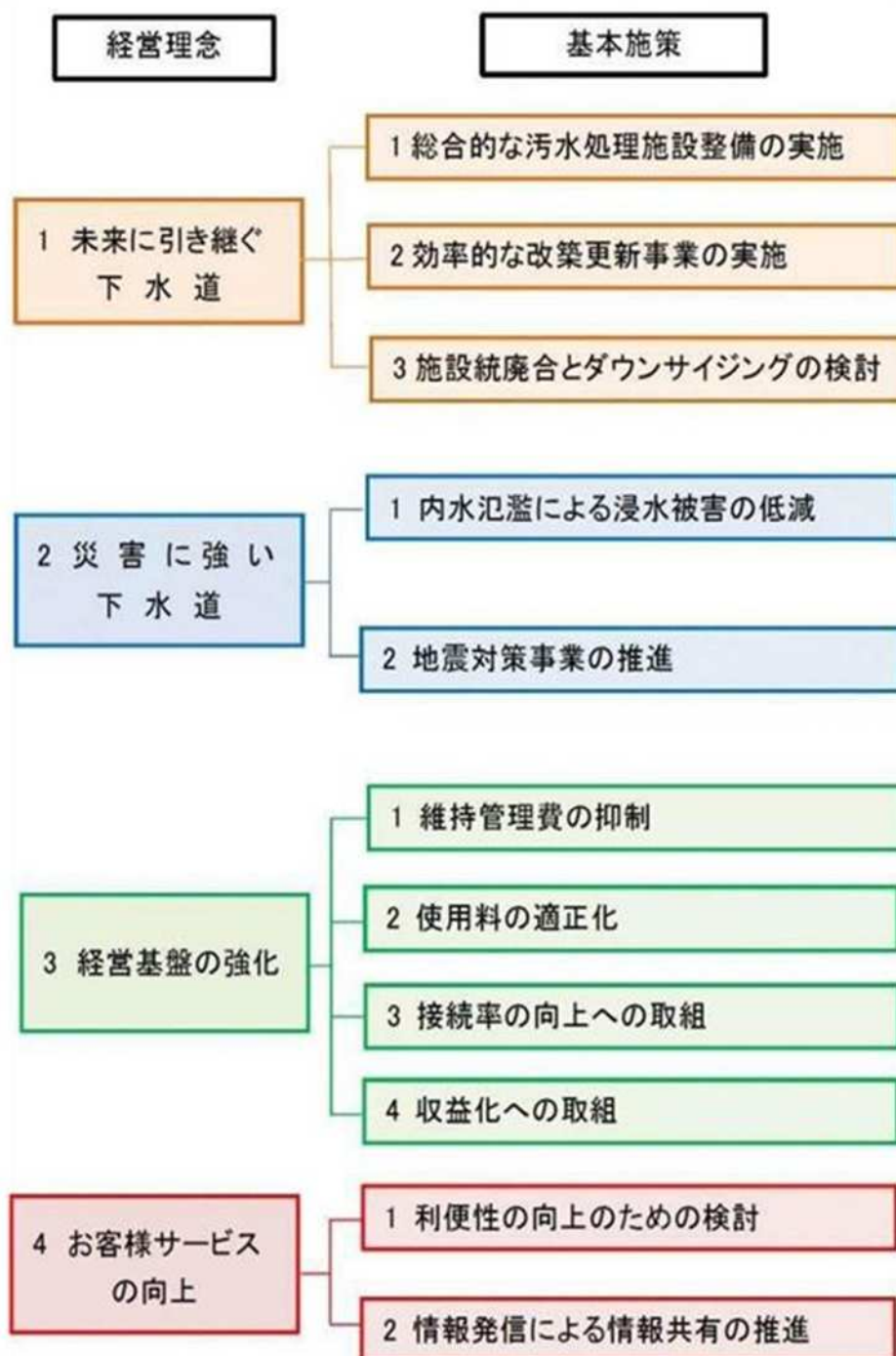


津市下水道事業基本計画（平成30年度－令和9年度）における事業評価報告書（令和4年度）

平成30年3月に策定した「津市下水道事業基本計画」の令和4年度事業の年次評価結果は、次のとおりとなりました。

1 事業評価の項目

「津市下水道事業基本計画」において、下記のとおり経営理念を4つで体系化し、推進する実現方策ごとに事業評価を実施しました。



2 年次評価

本計画の計画期間は令和9年度までの10年間です。計画に掲げた実現方策を着実に推進できているか進捗管理を毎年度実施します。

また、推進する実現方策ごとに実施した主な事業の分析を行い、下記総合評価の区分により自己評価を行います。

事業の推進にあたっては、推進する実現方策に対する指標や年度毎の事業実績等により、津市上下水道事業経営審議会からの検証を受けることによって、今後の下水道事業の運営に活用していくこととしています。

(総合評価の区分)

総合評価	今後の取組方針
A	目標を上回る事業進捗であり引き続き事業を進める。
	目標を上回る事業進捗ではあるが、今後、計画との乖離が予想されることから見直しを検討する。
	計画どおり事業が進んでおり引き続き事業を進める。
B	目標を上回る事業進捗ではあるが、今後、中止の場合の代替措置を検討する。
	目標どおり事業が進んでいるが、今後、計画との乖離が予想されることから見直しを検討する。
	目標を下回る事業進捗ではあるが、計画との乖離が軽微であることから目標達成に向けて事業を進める。
C	計画どおり事業が進んでいるが、今後、中止の場合の代替措置を検討する。
	目標を下回る事業進捗であり、今後、計画との乖離が大きいことから見直しを検討する。
	課題を整理し計画の再構築をする。

令和4年度 津市下水道事業基本計画評価シート

1 計画概要 (PLAN)

		計画コード	21-01-01-01
所管する所属	上下水道事業局 (下水道工務課工事担当)		
事業名称	01 下水道事業	計画 関連 ページ	P37,P38,P39, P40,P41,P59 P67
経営理念	01 未来に引き継ぐ下水道		
基本施策	01 総合的な汚水処理施設整備の実施		
基本施策を達成するための具体的な取組	下水道整備推進重点化事業交付金を最大限に活用 末端管渠整備済の団地を早期に下水道へ接続		
指標	① 下水道整備推進重点化区域整備面積		
	② 末端管渠整備済区域の接続面積		
目標値	単年度	① 41.90 ha	令和9年度 ① 310.00 ha
		② 115.70 ha	(計画最終年度/累積) ② 445.00 ha

2 実施結果 (DO)

実施した主な事業	【下水道整備推進重点化事業の活用】 市の財政負担と市民の負担のバランス並びに整備時期を考慮し、有利な国庫補助メニューを活用し事業を実施した。 ・津北部第1 3処理分区公共下水道工事ほか13件 【重点化区域以外の末端管渠整備済の団地の接続】 令和4年度において、団地への接続はなし。		
	実施後の値	① 49.71 ha	実施後の値 ① 102.21 ha
	(単年度)	② 0.00 ha	(累積) ② 305.43 ha

3 事業の分析 (CHECK)

進捗状況	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおりの進捗 <input checked="" type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る		
説明	重点化区域の整備は、単年度で目標値を上回り、累積においても概ね目標通りの進捗である。 一方で、末端管渠整備済の団地の接続については、令和4年度に接続を行わなかったため、累積においても進捗を下回る結果となった。		
	達成率 (単年度)	① 118.64 % ② - %	達成率 (累積) ① 32.97 % ② 68.64 %

4 今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 中間見直し通り推進	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり	<input type="checkbox"/> 中止
今後の取組方針	総合評価	B	
	下水道整備推進重点化区域については、基本計画に基づき事業を着実に進める。 末端管渠整備済区域への接続工事については、受益区域の大幅な拡大を見込めるため、引き続き地元自治会等と調整を諮りながら早期接続を目指す。		

5 津市上下水道事業経営審議会の意見

評定	適正	説明・意見	
----	----	-------	--

令和4年度 津市下水道事業基本計画評価シート

1 計画概要 (PLAN)

計画コード	21-01-01-02
-------	-------------

所管する所属	上下水道事業局 (下水道施設課)		
事業名称	01 下水道事業	計画 関連 ページ	P37,P38,P39, P42,P43,P44, P59
経営理念	01 未来に引き継ぐ下水道		
基本施策	02 効率的な改築更新事業の実施		
基本施策を達成するための具体的な取組	下水道ストックマネジメント計画による最適化 農業集落排水処理施設の機能強化による延命化		
指標	① 津市公共下水道ストックマネジメント基本計画策定対象施設数		
	② 農業集落排水処理施設の老朽設備の更新済み処理施設数		
目標値	単年度	① 3 施設	令和9年度 ① 24 施設
		② 0 施設	(計画最終年度/累積) ② 22 施設

2 実施結果 (DO)

実施した主な事業	【下水道ストックマネジメント計画による最適化】 平成30年度に策定した津市公共下水道ストックマネジメント基本計画に基づき、令和4年度は次の事業を実施した。 ・中央浄化センターポンプ設備 (5号ポンプ) 改築工事 ・極楽橋ポンプ場ポンプ設備 (3号雨水ポンプ等) 改築工事 ・新町ポンプ場ポンプ設備 (3号ポンプ等) 改築工事 【農業集落排水処理施設の機能強化による延命化関係】 令和4年度は実施なし。(令和6年度に維持管理適正化計画を策定するため、国に予算要求を行っていく。)			
	実施後の値	① 3 施設	実施後の値	① 7 施設
	(単年度)	② 0 施設	(累積)	② 0 施設

3 事業の分析 (CHECK)

進捗状況	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る	<input type="checkbox"/> 目標どおりの進捗	<input checked="" type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る	
説明	津市公共下水道ストックマネジメント基本計画に基づき、優先度の高い設備から順に改築工事を進めている。 農業集落排水処理施設の機能強化による延命化については、国の補助金が必要不可欠である。令和3年度に維持管理適正化計画の策定が補助要件に追加されたため、スケジュールを再調整し、事業を進めている。			
	達成率 (単年度)	① 100.00 %	達成率 (累積)	① 29.17 %
		② - %		② 0.00 %

4 今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 中間見直し通り推進	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり	<input type="checkbox"/> 中止
今後の取組方針	総合評価	B	
	下水道ストックマネジメント計画による最適化については、引き続き、国の交付金を有効的に活用しながら、津市公共下水道ストックマネジメント基本計画に基づき改築更新事業を進めていく。 農業集落排水処理施設の機能強化による延命化については、進捗の遅れはあるものの、引き続き、国の動向を注視しながら、計画 (中間見直し) 通りに進めていく。		

5 津市上下水道事業経営審議会の意見

評定	適正	説明・意見
----	----	-------

令和4年度 津市下水道事業基本計画評価シート

1 計画概要 (PLAN)

計画コード	21-01-01-03
-------	-------------

所管する所属	上下水道事業局 (下水道工務課工事担当・下水道施設課)					
事業名称	01 下水道事業		計画 関連 ページ	P37,P39,P45, P46,P47,P59		
経営理念	01 未来に引き継ぐ下水道					
基本施策	03 施設統廃合とダウンサイジングの検討					
基本施策を達成するための具体的な取組	農業集落排水処理施設の公共下水道への統合を検討 人口減少や節水型社会を考慮した規模適正化					
指標	①	—				
	②	—				
目標値	単年度	①	—	令和9年度	①	—
		②	—	(計画最終年度/累積)	②	—

2 実施結果 (DO)

実施した主な事業	【農業集落排水処理施設の公共下水道への統合】 令和4年度に実施した事業はなし。 【規模適正化】 効率的な汚水処理施設の整備・運営管理を計画的に実施するため、地域特性や地域住民の意向、人口減少等の社会情勢の変化を考慮し、効率的かつ適正な汚水処理区域の設定及び整備・運営管理手法の選定を行っている。令和4年度は、市営浄化槽区域での事業推進を着実に図るとともに、汚水処理施設の普及促進が図れるよう公共下水道の整備時期が未定である箇所(約160ha)を下水道計画区域から市営浄化槽区域への見直しを行った。					
	実施後の値	①	—	実施後の値	①	—
	(単年度)	②	—	(累積)	②	—

3 事業の分析 (CHECK)

進捗状況	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る		<input checked="" type="checkbox"/> 目標どおりの進捗	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る				
説明	社会構造の変化により今後更なる人口減少が想定されるなか、汚水処理施設の適正な区域設定を行うため経済比較を基本としつつ、時間軸の概念も踏まえた集合処理施設区域(下水道計画区域)から個別処理施設区域(市営浄化槽区域)への見直しを行った。							
	達成率 (単年度)	①	—	%	達成率 (累積)	①	—	%
		②	—	%		②	—	%

4 今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 中間見直し通り推進	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり	<input type="checkbox"/> 中止
今後の取組方針	総合評価	A	
今回の生活排水処理アクションプログラムの見直しにおいては、国が示す汚水処理施設の10年概成に対応するため、主な項目として下水道計画区域から市営浄化槽区域への見直しを行ったところであるが、今後は公共下水道事業の整備推進に伴い、下水道計画区域の近隣に位置する農業集落排水事業区域について、公共下水道計画区域への編入の検討を行うとともに汚水処理施設の広域化及び共同化の検討を行う。			

5 津市上下水道事業経営審議会の意見

評定	適正	説明・意見	
----	----	-------	--

令和4年度 津市下水道事業基本計画評価シート

1 計画概要 (PLAN)		計画コード	21-01-02-01
所管する所属	上下水道事業局 (下水道工務課工事担当・下水道施設課)		
事業名称	01 下水道事業	計画 関連 ページ	P37,P48,P49, P50,P51,P52, P59
経営理念	02 災害に強い下水道		
基本施策	01 内水氾濫による浸水被害の低減		
基本施策を達成するための具体的な取組	既存排水機場などの有効活用 雨水管理総合計画による効率的な事業推進 内水ハザードマップの作成		
指標	① 浸水対策の推進率		
	② -		
目標値	単年度	① 0.30 %	令和9年度 ① 24.00 %
		② -	(計画最終年度/累積) ② -

2 実施結果 (DO)

実施した主な事業	【既存排水機場などの有効活用】 排水機場の設備修繕を行い、施設の安定稼働を確保し排水区内の浸水軽減に努めた。 【雨水管理総合計画による事業推進】 津市雨水総合管理計画に基づき、浸水対策の整備として、藤方第2雨水幹線築造工事、半田川田ポンプ場及び半田川田第1雨水幹線築造工事、天神ポンプ場及び天神第2雨水幹線築造工事を実施した。 【内水ハザードマップの作成】 内水ハザードマップは、令和4年度に作成し、防災室が運用している。			
	実施後の値	① 0.30 %	実施後の値	① 22.70 %
	(単年度)	② -	(累積)	② -

3 事業の分析 (CHECK)

進捗状況	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る	<input checked="" type="checkbox"/> 目標どおりの進捗	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る	
説明	浸水対策の整備については、津市雨水総合管理計画に基づき、雨水幹線築造工事を実施し、目標どおりの進捗であった。			
	達成率	① 100.00 %	達成率	① 94.58 %
	(単年度)	② - %	(累積)	② - %

4 今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 中間見直し通り推進	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり	<input type="checkbox"/> 中止
今後の取組方針	総合評価	A	
	津市雨水管理総合計画に基づき、浸水対策の整備を進める。 また、既存排水機場などの有効活用について、今後も必要となる排水機場については、浸水軽減の機能を確保するため、維持補修を行っていく。		

5 津市上下水道事業経営審議会の意見

評定	適正	説明・意見	
----	----	-------	--

令和4年度 津市下水道事業基本計画評価シート

1 計画概要 (PLAN)

計画コード	21-01-02-02
-------	-------------

所管する所属	上下水道事業局（下水道工務課維持管理担当・下水道施設課）・上下水道管理局（上下水道管理課）		
事業名称	01 下水道事業	計画 関連 ページ	P37,P48,P53, P59
経営理念	02 災害に強い下水道		
基本施策	02 地震対策事業の推進		
基本施策を達成するための具体的な取組	下水道総合地震対策計画による事業推進 業務継続計画（BCP）による災害時の対応強化		
指標	① 下水道総合地震対策計画に基づく耐震化予定施設数		
	② -		
目標値	単年度	① 0 施設	令和9年度 ① 2 施設
		② -	(計画最終年度/累積) ② -

2 実施結果 (DO)

実施した主な事業	【下水道総合地震対策計画による事業推進】 令和4年度は、下水道総合地震対策計画に基づき、丸之内地内下水道管更生工事を発注した。 また、施設の耐震補強工事について、令和4年度の実施はなかった。（平成28年度より着手している中央浄化センターの耐震補強工事については、令和8年度にポンプ棟の耐震補強工事を開始予定である。） 【BCPによる災害時の対応強化】 年度当初において、災害対策本部の上下水道総務班、水道班および下水道班が、相互に応援できるよう人員配置を見直した。		
	実施後の値	① 0 施設	実施後の値 ① 2 施設
	(単年度)	② -	(累積) ② -

3 事業の分析 (CHECK)

進捗状況	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る	<input checked="" type="checkbox"/> 目標どおりの進捗	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る
説明	下水道総合地震対策計画に基づき事業を進めた。		
	達成率 (単年度)	① - %	達成率 ① 100.00 %
		② - %	(累積) ② - %

4 今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 中間見直し通り推進	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり	<input type="checkbox"/> 中止
今後の取組方針	総合評価	A	
	平成30年度に策定した津市下水道総合地震対策計画に基づき、令和5年度までの計画期間において、管路および施設の耐震補強工事を実施している。今後、令和5年度に次期計画を策定し、引き続き令和5年度から令和9年度の計画期間において、国の交付金を活用しながら順次計画的に実施する予定である。		

5 津市上下水道事業経営審議会の意見

評定	適正	説明・意見	
----	----	-------	--

1 計画概要 (PLAN)		計画コード	21-01-03-01
所管する所属	上下水道事業局 (下水道施設課)		
事業名称	01 下水道事業	計画 関連 ページ	P37,P54,P55, P56,P59
経営理念	03 経営基盤の強化		
基本施策	01 維持管理費の抑制		
基本施策を達成するための具体的な取組	民間活力等の導入 ダウンサイジング等による効率化や合理化		
指標	① 新たに包括的運転維持管理業務委託を検討する施設数		
	② -		
目標値	単年度	① 2 施設	令和9年度 ① 2 施設
		② -	(計画最終年度/累積) ② -

2 実施結果 (DO)			
実施した主な事業	<p>【民間活力等の導入】 次の2施設について、包括的運転管理業務委託の検討の結果、令和5年度より包括的運転管理業務委託契約を行うことになった。 ・天神ポンプ場 (令和3年度整備完了、令和5年度供用開始予定) ・半田川田ポンプ場 (令和5年度整備完了予定、令和5年度供用開始予定)</p> <p>【ダウンサイジング等による効率化や合理化】 ダウンサイジングの検討は、汚水処理量や施設の老朽度を勘案して判断を行う必要がある。 令和4年度は、令和5年度より経年化施設の老朽化診断に着手できるよう、予算計上を行った。</p>		
	実施後の値	① 2 施設	実施後の値 ① 2 施設
	(単年度)	② -	(累積) ② -

3 事業の分析 (CHECK)			
進捗状況	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る	<input checked="" type="checkbox"/> 目標どおりの進捗	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る
説明	天神ポンプ場及び半田川田ポンプ場について、令和5年度整備完了予定を見据えて検討を行った結果、令和5年度より包括的運転管理業務委託契約を行うことになった。		
	達成率 (単年度)	① - %	達成率 ① 100.00 %
		② - %	(累積) ② - %

4 今後の方向性 (ACTION)			
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 中間見直し通り推進	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり	<input type="checkbox"/> 中止
今後の取組方針	総合評価	A	
	<p>民間活力の導入については、令和5年度に天神ポンプ場及び半田川田ポンプ場が新たに供用開始となる予定であるが、現在の職員構成による維持管理は困難であることから包括的運転維持管理業務委託を行う予定である。 ダウンサイジング等の検討については、老朽化診断による施設の状況把握を行い、方向性を決定する。</p>		

5 津市上下水道事業経営審議会の意見			
評定	一部不適正	説明・意見	

令和4年度 津市下水道事業基本計画評価シート

1 計画概要 (PLAN)		計画コード	21-01-03-02			
所管する所属	上下水道管理局 (経営企画課)					
事業名称	01 下水道事業	計画 関連 ページ	P37,P54,P56, P57,P59			
経営理念	03 経営基盤の強化					
基本施策	02 使用料の適正化					
基本施策を達成するための具体的な取組	経営状況の分析 適正な使用料の検討					
指標	①	-				
	②	-				
目標値	単年度	①	-	令和9年度	①	-
		②	-	(計画最終年度/累積)	②	-

2 実施結果 (DO)

実施した主な事業	令和元年10月1日に使用料改定を行った結果、令和4年度決算における下水道使用料収入は改定前の令和4年度の計画と比較して約4.7億円の増となる約21億9千万円(税抜)であった。 令和4年度決算における汚水処理原価は166.52円/m ³ 、使用料単価は150.06円/m ³ であった。 【参考】 下水道使用料収入(税抜) 令和3年度決算 約21億6千万円 改定前の令和4年度の計画 約17億2千万円					
	実施後の値	①	-	実施後の値	①	-
	(単年度)	②	-	(累積)	②	-

3 事業の分析 (CHECK)

進捗状況	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおりの進捗 <input type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る							
説明	令和元年10月1日に実施した使用料改定により、使用料単価は増加したものの汚水処理原価に対する使用料単価は、なお16円/m ³ 不足が生じている状況である。							
	達成率	①	-	%	達成率	①	-	%
	(単年度)	②	-	%	(累積)	②	-	%

4 今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 中間見直し通り推進 <input type="checkbox"/> 見直しの必要あり <input type="checkbox"/> 中止					
今後の取組方針	総合評価	A				
	使用料改定を行ってもなお、汚水処理原価に対する使用料単価が不足している状況であるが、これは公共下水道普及率が低いことが一つの要因であり、供用開始区域の拡大により、今後は一定の改善を図ることができると考えている。適正な使用料収入については、今後の整備状況も勘案した上で引き続き検討を行う。					

5 津市上下水道事業経営審議会の意見

評定	適正	説明・意見	
----	----	-------	--

令和4年度 津市下水道事業基本計画評価シート

1 計画概要 (PLAN)

		計画コード	21-01-03-03			
所管する所属	上下水道事業局（下水道工務課維持管理担当）・上下水道管理局（上下水道管理課）					
事業名称	01 下水道事業	計画 関連 ページ	P37,P54,P57, P59			
経営理念	03 経営基盤の強化					
基本施策	03 接続率の向上への取組					
基本施策を達成するための具体的な取組	従来の取組に加え、メディアを利用した普及促進の強化					
指標	① 普及啓発訪問件数（実施後の値：令和3年3月末現在）					
	② 各種イベントの出展回数（計画コード：21-01-04-02関連）					
目標値	単年度	①	1,000 件	令和9年度	①	10,000 件
		②	3 回	(計画最終年度/累積)	②	20 回

2 実施結果 (DO)

実施した主な事業	【普及促進の強化】 公共下水道の接続率向上による下水道使用料収入の増加を図るため、次の取り組みを行った。 ・職員による訪問調査と接続への啓発。 ・イベント会場（津まつり、つ・環境フェスタ）における、下水道事業の周知・啓発。					
	実施後の値	①	647 件	実施後の値	①	4,999 件
	(単年度)	②	2 回	(累積)	②	7 回

3 事業の分析 (CHECK)

進捗状況	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る		<input type="checkbox"/> 目標どおりの進捗		<input checked="" type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る	
説明	職員による訪問調査により、公共下水道への接続に関して一定の理解は得られたものの、コロナ禍でもあり目標値に対する啓発件数実績が下回った。 今後も職員による訪問調査やイベントへの積極的な参加を行い、接続率の向上に努める。					
	達成率	①	64.70 %	達成率	①	49.99 %
	(単年度)	②	66.67 %	(累積)	②	35.00 %

4 今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/>	中間見直し通り推進	<input type="checkbox"/>	見直しの必要あり	<input type="checkbox"/>	中止
今後の取組方針	総合評価	B				
	今後も引き続き職員による訪問調査を実施するとともに、イベントへ積極的に参加を行うことで、接続率の向上に努める。 また、メディア等を活用した効率的な普及促進について検討を進める。					

5 津市上下水道事業経営審議会の意見

評定	適正	説明・意見	
----	----	-------	--

令和4年度 津市下水道事業基本計画評価シート

1 計画概要 (PLAN)		計画コード	21-01-03-04		
所管する所属	上下水道事業局 (下水道工務課工事担当)				
事業名称	01 下水道事業	計画 関連 ページ	P37,P54,P57, P59		
経営理念	03 経営基盤の強化				
基本施策	04 収益化への取組				
基本施策を達成するための具体的な取組	団地や事業所等の早期整備を行うことによる収益の確保				
指標	① 公共下水道計画区域内にある末端管渠整備済の団地を公共下水道へ接続することで公共下水道の利用者となる人数				
	②	-			
目標値	①	4,306 人	令和9年度	①	19,096 人
	②	-	(計画最終年度/累積)	②	-

2 実施結果 (DO)

実施した主な事業	<p>【団地や事業所等の早期整備】 末端管渠整備済団地は、団地の汚水処理施設から公共下水道管へ接続することで、同時にまとまった使用料収入の増加が見込める。令和4年度は、緑の街団地の切替えを行った。また、市内の対象となる団地の管理組合及び汚水処理施設管理者に対して団地接続に係る協議を進めた。</p> <p>※実施後の値は住民基本台帳に基づき集計した値を計上している。</p>					
	実施後の値	①	2,427 人	実施後の値	①	11,962 人
	(単年度)	②	-	(累積)	②	-

3 事業の分析 (CHECK)

進捗状況	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る	<input checked="" type="checkbox"/> 目標どおりの進捗	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る	
説明	単年度における実績値は、目標の進捗を下回ったものの、累積では概ね目標通りの進捗である。			
	達成率 (単年度)	① 56.36 %	達成率 (累積)	① 62.64 %
	②	- %	②	- %

4 今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 中間見直し通り推進	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり	<input type="checkbox"/> 中止
今後の取組方針	総合評価	A	
	末端管渠整備済団地について、基本計画に基づく計画的な公共下水道管への接続を図る。		

5 津市上下水道事業経営審議会の意見

評定	適正	説明・意見	
----	----	-------	--

令和4年度 津市下水道事業基本計画評価シート

1 計画概要 (PLAN)

		計画コード		21-01-04-01	
所管する所属		上下水道管理局 (営業課)			
事業名称		01 下水道事業		計画 関連 ページ	P37,P58
経営理念		04 お客様サービスの向上			
基本施策		01 利便性の向上のための検討			
基本施策を達成するための具体的な取組		バーコードペイやクレジットカード払いの導入によるメリット・デメリットを検討			
指標	①	-			
	②	-			
目標値	単年度	①	-	令和9年度	① -
		②	-	(計画最終年度/累積)	② -

2 実施結果 (DO)

実施した主な事業	【バーコードペイ等の検討】 コンビニ収納代行委託業者 (以下「委託業者」といいます。) と円滑な導入に向けた協議を行った。			
	実施後の値	① -	実施後の値	① -
	(単年度)	② -	(累積)	② -

3 事業の分析 (CHECK)

進捗状況		<input type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る	<input type="checkbox"/> 目標どおりの進捗	<input checked="" type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る
説明	バーコードペイ等の導入に係る課題の整理を行ったところ、現行の委託業者のままではバーコードペイの導入ができない状況となったため、更なる検討が必要。			
	達成率 (単年度)	① - %	達成率 (累積)	① - %
		② - %		② - %

4 今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 中間見直し通り推進	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり	<input type="checkbox"/> 中止
今後の取組方針	総合評価	B		
	新たな問題が発生し、導入に向けての課題は増えたが、バーコードペイやクレジットカード払い導入に係る要望は高く、導入の方向性は変えずに進めていく。			

5 津市上下水道事業経営審議会の意見

評定	適正	説明・意見	
----	----	-------	--

令和4年度 津市下水道事業基本計画評価シート

1 計画概要 (PLAN)		計画コード	21-01-04-02
所管する所属	上下水道管理局 (上下水道管理課)		
事業名称	01 下水道事業	計画 関連 ページ	P37,P58
経営理念	04 お客様サービスの向上		
基本施策	02 情報発信による情報共有の推進		
基本施策を達成するための具体的な取組	分かりやすいホームページの作成 助成制度等の情報発信		
指標	① 広報紙の発行回数		
	② 各種イベントへの出展回数 (計画コード: 21-01-03-03関連)		
目標値	単年度	① 4 回	令和9年度 ① 30 回
		② 3 回	(計画最終年度/累積) ② 20 回

2 実施結果 (DO)

実施した主な事業	<p>【わかりやすいホームページの作成】</p> <p>○ホームページ 見やすさを改善するため、主に以下の対応を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の古い不要なコンテンツを削除した。 新着順にアップロードされていた多数のコンテンツを事業ごとに整理し、ホームページ全体の構成を改良した。 基本計画のデータは複数データに分かれていたが、データを一つに統合しアップロードし直したことで、ユーザーがデータの閲覧・ダウンロードが一度で済むように改善した。 <p>○広報誌「下水道だより」 下水道事業について理解を深めていただくため、現在の経営状況、主な事業及び下水道(汚水)の普及状況について、内容を充実させ4回(5月、8月、12月、3月)発行した。</p> <p>○イベント 津まつり、つ・環境フェスタにおいて、下水道事業の普及啓発を行った。</p> <p>【助成制度等の情報発信】 広報津(令和4年4月16日号)に浄化槽設置補助制度のご案内を掲載した。</p>			
	実施後の値	① 4 回	実施後の値	① 21 回
	(単年度)	② 2 回	(累積)	② 7 回

3 事業の分析 (CHECK)

進捗状況	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を上回る	<input checked="" type="checkbox"/> 目標どおりの進捗	<input type="checkbox"/> 目標の進捗を下回る
説明	広報紙、ホームページについては見る側の視点で作成に努めるとともに、イベント会場においては下水道事業の普及啓発(パネル展示)を行った。		
	達成率(単年度)	① 100.00 % ② 66.67 %	達成率(累積)

4 今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 中間見直し通り推進	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり	<input type="checkbox"/> 中止
今後の取組方針	総合評価	A	
	<p>広報紙及びホームページについては、市民目線に立ち、より見やすく分かりやすいものとなるように検証していく。</p> <p>また、随時、イベント等の機会を見つけ普及啓発に努めていく。</p>		

5 津市上下水道事業経営審議会の意見

評定	適正	説明・意見	
----	----	-------	--